

## ブルー&ラズベリーの郷づくりモデル事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

「チーム志平」は、平成18年の豪雨災害を機に、地域の活性化につながることを自分達の手で手がけようと結成された。

一帯は野生鳥獣による農作物被害により遊休荒廃地が多く発生しており、これらを解消するため、地域で栽培実績のないブルーベリーとラズベリーの農園整備を行ない、遊休農地の有効活用を図るほか、地元小学生等を対象とした農業体験学習を通じ、思いやりと感動する心を養うことを目指している。

### 事業内容

直営施工により、以下の事業を実施した。

- 遊休荒廃農地の解消（樹木の伐採、伐根、整地 A=25a）
- ブルーベリーとラズベリーの農園整備
- 地元の子供たちの農業体験学習（ブルーベリー250本、ラズベリー50本の植樹と摘取り）
- 鳥獣被害対策（防護網 L=240m の設置）

農地復旧作業



植樹作業



### 事業効果

- 遊休荒廃農地を有効活用し、美しい農村景観の保全が図られるとともに、鳥獣被害が軽減された。（被害額の削減 △2,500千円）
- 地域の活性化（ブルーベリーとラズベリーの郷をきっかけとした地域振興）
- 地元小中学生を対象とした植樹・摘み取り体験を通じて農業や地元の山に親しむ心が醸成された。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

樹木の伐採・伐根を始め、農地復旧作業は大変な重労働であったが、植樹祭での子どもたちの笑顔等が今後の更なる取り組みの源となっている。今後は以下の取り組みをして行く。

- 栽培面積の拡大（A=20a）
- 学校給食への提供（無料）
- 農園を利用した都市住民との交流（観光農園）
- 収穫物の加工（ジャムづくり）
- 直売所（販売）
- そば栽培

#### 【選定のポイント】

遊休農地解消のため、農園整備等を地域が一体となり取り組むことにより、地域の一体感の醸成・活性化に寄与している。

団体名：チーム志平（岡谷市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先：代表 高林一彦	事業費	561,803円
事務局 高林栄治 0266-24-4513	支援金額	463,000円